

平成 27 年度まちづくり活動助成 “はじめの一歩” 部門 活動報告書

なるほど！ ザ・ミュージアム

平成 28 年 3 月



第5号様式

平成28年3月21日

(あて先)

公益財団法人名古屋まちづくり公社理事長

所在地 愛知県名古屋市北区名城3丁目1-1
愛知学院大学名城公園キャンパス
地域連携センター
名 称 えがお届け隊
代表者 海野竜矢

まちづくり活動助成活動実績報告書

当団体のまちづくり活動の実績状況について、名古屋都市センターまちづくり活動助成金交付要綱の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 活動の概要

項目	内 容	備 考
クイズパネル作製	名古屋学芸大学・学生と連携し、資料館に設置するためのクイズパネル（セルフガイドシステム）の作製。	詳細はP3以降に記述。
クイズパネル完成記念イベント	完成したクイズパネルを周知させるためのイベント。	

2 助成対象活動の内容及び成果品等

項目	内 容	備 考
クイズパネル	来館する子供たちに、案内人がいなくても昔の道具の意味がわかるクイズパネルとヒントの作製。	詳細はP3以降に記述。
クイズパネル完成記念イベント	クイズパネル完成記念として、「街角資料館」刻印入り定規を参加者に配布。また、クイズパネルに連動したレクリエーションも実施。 開催日 3月19日（土） 参加者 延べ9名	

3 団体の収入支出決算書

(注)「“はじめの一歩”部門」「まち“夢”工事部門」は記入不要です。

《収 入》

項目	決算額(円)	内 訳
計		

《支 出》

項目	決算額(円)	内 訳
計		

4 助成に係る活動費用の内訳書（領収書添付）

項目	執行額の内訳	(予算額(円))
		執行額(円)
クイズパネル作製	材料費 (①、②、⑤、⑦、⑧) 制作費 (④)	13,060 20,995
クイズパネル完成記念 イベント	帽子代 (③) アクリル代 (⑥)	108円 2,800円
計		36,963円

(備考) 1.「4.助成に係る活動費用の内訳書」に記入する項目は「まちづくり活動提案書」の「助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書」に沿った内容として下さい。尚、使途に条件が付いている団体については条件に合った使途のみとなるようにして下さい。

2.用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2016年3月21日
えがお届け隊
海野竜矢（愛知学院大学）

平成27年度事業報告書 名古屋都市センター助成金活用と成果

事業名

なるほど！ザ・ミュージアム

事業目的

平成26年は、自らが住む地区の生活や建物の変化、発展の様子を知り、地元への関心・愛着心を育むために、弁天通り商店街の「街角資料館」の利活用アップを目的に、資料整理とレイアウトの変更、展示台づくり、資料館内のゾーニング（サロン空間づくりとテーマ展示）を行いました。

今年度は、「街角資料館」を、地区の子供にとってより身近なものにし、自分たちだけでも活用できるよう、以下の取り組みを行いました。

① 歴史クイズを用いたセルフガイドシステムづくり

「街角資料館」は管理者が常駐していないため、子供たちが、案内人がいなくとも自分たちだけで自発的に楽しく地区の歴史を学べるよう、クイズを用いたセルフガイドシステムを作る。

② セルフガイドシステムを用いたイベント開催

セルフガイドシステムを実際に親子に使ってもらい、今後の「街角資料館」の利活用を高めるために「クイズパネル公開記念イベント」を開催する。

事業内容

① 歴史クイズを用いたセルフガイドシステムづくり

◆セルフガイドシステムとは

案内人や教師などがいない状態で、美術館や博物館、自然公園などを見て回るなかで、展示物の見方や、学ぶべき内容を理解できるようにするシステムです。また常時、ガイド等の人員を配置しなくても、一定の学習の機会を提供できることもメリットの一つです。

◆セルフガイドシステムの仕掛け

収納物の大半（昭和40年代の生活用品が主体）は、平成時代に生まれた小学生には見知らぬ形で使い方も分からぬことが多いと考えました。そこで「わからない」ことを活用し、クイズという形で、子供たちの好奇心を掻き立て、ヒントを与えることで、

自ら考えながら知識を学ぶ仕掛けを作りました。

クイズはパネルの形で示し、クイズとなる対象展示物のそばにヒントアイテムを設置しました。クイズのテーマとなる展示物やヒントアイテムは触ったり操作したりすることによって、小学生が実物に触るなかで、より能動的な体験的学習ができるようにしました。

◆セルフガイドシステムのクイズ内容策定 (H27年7月～12月)

平成26年に実施した「街角資料館」の分類・資料データベースの分類をもとに、「昭和の暮らし」「家電」「エネルギー」等に分け、クイズに出す道具をそれぞれ絞りこみました。結果、「レジスター（S35年製）」「黒電話」「白黒テレビ」「レコーダー」「電気あんか（S40年製）」の5つの道具にスポットライトをあてたクイズ策定と調査を行いました。また、近隣小学校の先生にもクイズ内容を見て頂き、子供たちにわかりやすく、取っつきやすい内容にしました。

◆名古屋学芸大学の学生との協働によるクイズパネル協同制作（2016年1月～3月）

パネル制作は愛知学院大学地域連携センターの仲立ちによって、名古屋学芸大学のメディア造形学部の学生有志に依頼し、協同作成を致しました。「見て、ふれて、遊んで、学べる」をテーマに、一緒に検討を進め、オリジナルキャラクターや能動的にクイズが解けるようヒントや仕掛け、シンボルロゴ等を学芸大学生が形にしました。



名芸大・学生によるパネル作製様子

◆ クイズパネル完成

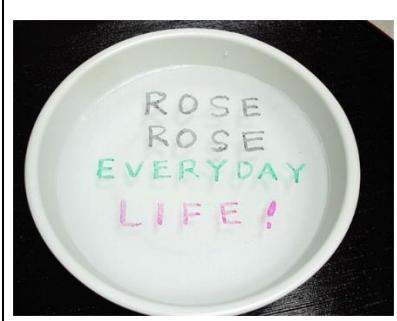
史料の前にパネルを設置することで、来館者が史料に対し、能動的に学べるようになりました。また、クイズを解くために能動的に考えられるヒント（仕掛け）を設置しました。



①街角資料館の新表記とオリジナルキャラクター ②クイズパネル設置後の様子。

③ 答えのパネルも対話形式にする
ことで、子供の理解を充実させ
るものにしました。

クイズパネル設置様子	ヒントの仕掛け	仕掛けについて
		ペンライトをかざすことでヒントが読みます。
		恋文をイメージしたヒント。
		虫眼鏡をみると、ヒントがわかる仕組み。
		クロスワード形式でより深く考えるきっかけを与えます。

		オブラーントに油性インクのペンと水性インクのペンで文字を書いて、油性インクで書いた文字だけオブラーントが溶けた時に水の上に浮いてる仕掛け。
--	--	---

② クイズパネル公開記念イベント

◆イベント実施目的

小学生を中心に日常的に「街角資料館」を活用して活用してもらえるように、近隣に住む人々（全世代）が、クイズパネルの存在を知ってもらうことを目的にしました。

◆イベント概要

（日時）2016年3月19日（土）13:30～15:30（街角資料館・サロンスペースにて実施）

（対象）親とその子供（小学3～6年）7組

（内容）「みんなで対抗！クイズゲーム」とし、各ブロックでクイズに挑戦し、答えることでポイントをゲットするポイント制を導入する。ポイントは最後に集計し、順位等で景品などをプレゼントします。

◆イベント行程

13:30 資料館集合 説明

13:45 クイズパネル紹介クイズ

- ・クイズパネルを披露し、実際にクイズを行う。クイズパネルの披露を含め、子供に昔の道具に興味をもってもらう。

解けた問題の点数で、1位（全問正解）は「街角はかせ」など表彰する。

14:15 おやつタイム

紹介クイズについての会話などを踏まえながらおかしを食べる。交流を通してクイズパネルの認知度を高める。

14:30 昔のかるたバトル

- ・「むかしのどうぐトランプ」を使用し、かるたを行う。
- かるたを通して、昔の道具に興味・関心を持ってもらう。

15:00 レジを触ろう！

- ・レジってなんだろう？？
- 昔のレジと今のレジを比較してみよう！
- レジで遊んでみよう！
- めんこで遊んでみよう！

15:15 振り返り

◆成 果

- ・自分のお気に入りの道具？などを紹介してもらう。
- アンケートに記入してもらう。感想発表など...

15:30 解散

アンケート結果と参加者の声を以下に掲載します。

保護者（回答者 2 名）

Q. イベント満足度

- A. 5段階の中で 3（普通） 1名
5段階の中で 5（満足した！！） 1名

Q. ほかの参加者の方とは仲良くなれたか？

- A. 5段階の中で 3（普通） 1名
5段階の中で 5（仲良くなれた！！） 1名

Q. 弁天通商店街は普段利用されますか？

- A. 5段階の中で 3（たまに利用） 1名
5段階の中で 1（初めて利用） 1名

Q. 今日のイベントに参加して、弁天通商店街のイメージは変わったか？

- A. 変わった（2名）

Q. 弁天通のイメージはどのように変わりましたか？

- A. 機会があればまた利用してみたい
親しみやすい
イベント終了後歩いてみたい

Q. 今日のイベントは、お子様の教育に少しでも貢献できたか？

- A. 5段階の中で 5（貢献できた） 1名、
5段階の中で 3（普通） 1名

Q. またこのようなイベントに参加したいと思いましたか？

- A. 5段階の中で 5（ぜひ参加したい） 1名
5段階の中で 4（参加したい） 1名

参加小学生【回答者 4 名（上名古屋小 2 名、名北小 1 名、内山小 1 名）】

Q. 何年生ですか？

- A. 2年生 1人、3年生 2人、5年生 1人

Q. 今日のクイズ大会はどうでしたか？

(・たのしかった！　・ふつう　・つまんなかった)

A. 楽しかった！ 4人

Q. 4つの道具の中で、あなたが一番おもしろそうだと思ったものは？

A. 白黒テレビ：1人、電気あんか：0人、黒電話：2人、レコードプレイヤー：1人

Q. 上でえらんでもらった道具がなんでおもしろそうだと思ったの？

A.	白黒テレビ	白黒だから
	電気あんか	回答なし
	黒電話	今とかたちが違うから 回すのが面白い
	レコードプレーヤー	回答なし

Q. また今日みたいなイベントがあったら参加したいですか？

A. はい3人、無回答1人

以上のように、クイズパネル公開に合わせ、道具を通して生活の歴史を知ってもらい、『地元に根ざした歴史教育』を目的としたイベントを実施しました。

最終的に子供5名、保護者3名の参加となりました。直前にさらに2組の申し込みがありましたが、準備が間に合わないために、残念ながらお断りをせざるを得ませんでした。

参加者の中には今池地区からの参加者もあり、今後は「地域の歴史を地元の子供に伝達する」方針を取りつつ、西区内に限定しない方策（イベント内容）も考えていきたいと思います。なお、アンケート結果も良好であり、来年度も引き続き資料館・クイズパネル周知イベントを実施していきたいと思います。

課題

課題としては、イベント集客である。「歴史」というものをいかに子供たち等の参加者が楽しめるか、イベントを試行錯誤していきます。

今後としても「地域の子供」をターゲットにこのようなイベントを継続的に実施し、資料館周知と商店街利用者増加を目指します。

実施の様子

<p>参加者限定ノベルティ（名芸大生作）</p>	<p>答えは巻物に書かれている仕掛けに夢中になる参加者</p>
<p>ヒントを見ながら考える参加小学生</p>	<p>昭和の居間（常設展示）でカルタ大会</p>
<p>商店街のお菓子をつまみながら小休憩。司会は「えがお届け隊」メンバー吉村。</p>	<p>クイズパネル作製班：名古屋学芸大学の学生チーム</p>